

令和6年度 埼玉西部環境保全組合維持管理記録（埼玉西部クリーンセンター）

処分した一般廃棄物の月ごとの種類及び数量

種類	処理量 (t)													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
可燃ごみ	1号炉	405.68	1,686.28	1,691.60	1,685.32	1,537.35	1,580.40	1,602.96	1,464.22					11,653.81
	2号炉	1,618.80	1,689.05	735.19	944.06	1,563.56	835.53	672.06	1,468.42					9,526.67

燃焼室中の燃焼ガスの温度

測定を行った位置		燃焼室出口													管理値
測定の結果の得られた年月日		令和6年 4月30日	令和6年 5月31日	令和6年 6月30日	令和6年 7月31日	令和6年 8月31日	令和6年 9月30日	令和6年 10月31日	令和6年 11月30日	令和6年 12月31日	令和7年 1月31日	令和7年 2月28日	令和7年 3月31日		
測定の結果 (°C) 【月平均値】	1号炉	914	921	924	921	913	927	935	933					800 以上	
	2号炉	936	929	935	926	924	931	925	945						

集じん器に流入する燃焼ガスの温度

測定を行った位置		バグフィルタ入口													管理値
測定の結果の得られた年月日		令和6年 4月30日	令和6年 5月31日	令和6年 6月30日	令和6年 7月31日	令和6年 8月31日	令和6年 9月30日	令和6年 10月31日	令和6年 11月30日	令和6年 12月31日	令和7年 1月31日	令和7年 2月28日	令和7年 3月31日		
測定の結果 (°C) 【月平均値】	1号炉	185	185	184	183	185	181	177	178					おおむね 200 以下	
	2号炉	184	185	184	183	179	169	183	183						

煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度(1時間平均値)

測定を行った位置		煙突入口													管理値
測定の結果の得られた年月日		令和6年 4月30日	令和6年 5月31日	令和6年 6月30日	令和6年 7月31日	令和6年 8月31日	令和6年 9月30日	令和6年 10月31日	令和6年 11月30日	令和6年 12月31日	令和7年 1月31日	令和7年 2月28日	令和7年 3月31日		
測定の結果 (ppm) 【月平均値】	1号炉	6	4	3	5	6	5	5	4					30 以下	
	2号炉	3	2	1	4	5	5	4	4						

冷却設備及び排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った年月日

ばいじんの除去を行った年月日	常時機械除去
----------------	--------

排ガス測定結果

1号炉

排ガスを採取した位置		煙突												
排ガスを採取した年月日		令和6年 4月30日	令和6年 5月10日	令和6年 6月7日	令和6年 7月18日	令和6年 8月5日	令和6年 9月9日	令和6年 10月25日	令和6年 11月22日	令和6年 12月31日	令和7年 1月31日	令和7年 2月28日	令和7年 3月31日	
測定の結果	硫黄酸化物排出量 ( $\text{m}^3/\text{h}$ )	0.075	-	0.047	-	0.028	-	0.070	-	-	-	-	-	
	硫黄酸化物濃度 (ppm)	5.1	-	2.7	-	2.9	-	4.6	-	-	-	-	-	
	ばいじん濃度 ( $\text{g}/\text{m}^3$ )	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	-	-	-	-	
	塩化水素濃度	( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	23	-	23	-	11	-	37	-	-	-	-	
		(ppm)	14	-	14	-	7.1	-	23	-	-	-	-	
	窒素酸化物濃度 (ppm)	24	-	26	-	26	-	23	-	-	-	-	-	
	水銀濃度 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	-	-	0.00011	-	-	-	0.00011	-	-	-	-	-	
排ガスを採取した年月日	令和6年 4月30日	令和6年 5月10日	令和6年 6月7日	令和6年 7月18日	令和6年 8月5日	令和6年 9月9日	令和6年 10月25日	令和6年 11月22日	令和6年 12月31日	令和7年 1月31日	令和7年 2月28日	令和7年 3月31日		
測定の結果の得られた年月日	令和6年 5月23日	令和6年 6月6日	令和6年 7月4日	令和6年 8月9日	令和6年 9月11日	令和6年 10月4日	令和6年 11月20日	令和6年 12月31日	令和7年 1月31日	令和7年 2月28日	令和7年 3月31日	令和7年 3月31日		
測定の結果	排ガスダイオキシン類 濃度 ( $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$ )	0.0011	0.00067	0.0008	0.00051	0.00038	0.00087	0.00078	-	-	-	-	-	
	主灰ダイオキシン類 濃度 ( $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$ )	-	-	-	-	0.012	-	-	-	-	-	-	-	
	採取場所：主灰搬送装置													
飛灰ダイオキシン類 濃度 ( $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$ )	-	-	-	-	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	
採取場所：飛灰搬送装置														

2号炉

排ガスを採取した位置		煙突												
排ガスを採取した年月日		令和6年 4月25日	令和6年 5月9日	令和6年 6月6日	令和6年 7月19日	令和6年 8月6日	令和6年 9月6日	令和6年 10月24日	令和6年 11月21日	令和6年 12月31日	令和7年 1月31日	令和7年 2月28日	令和7年 3月31日	
測定の結果	硫黄酸化物排出量 ( $\text{m}^3/\text{h}$ )	0.032	-	0.062	-	0.036	-	0.100	-	-	-	-	-	
	硫黄酸化物濃度 (ppm)	2	-	3.3	-	2.3	-	7.1	-	-	-	-	-	
	ばいじん濃度 ( $\text{g}/\text{m}^3$ )	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	-	-	-	-	
	塩化水素濃度	( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	19	-	21	-	13	-	32	-	-	-	-	
		(ppm)	11	-	13	-	8.3	-	19	-	-	-	-	
	窒素酸化物濃度 (ppm)	25	-	23	-	25	-	20	-	-	-	-	-	
	水銀濃度 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	-	-	0.00017	-	-	-	0.00012	-	-	-	-	-	
排ガスを採取した年月日	令和6年 4月25日	令和6年 5月9日	令和6年 6月6日	令和6年 7月19日	令和6年 8月6日	令和6年 9月6日	令和6年 10月24日	令和6年 11月21日	令和6年 12月31日	令和7年 1月31日	令和7年 2月28日	令和7年 3月31日		
測定の結果の得られた年月日	令和6年 5月23日	令和6年 6月6日	令和6年 7月4日	令和6年 8月9日	令和6年 9月11日	令和6年 10月4日	令和6年 11月20日	令和6年 12月31日	令和7年 1月31日	令和7年 2月28日	令和7年 3月31日	令和7年 3月31日		
測定の結果	排ガスダイオキシン類 濃度 ( $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$ )	0.000075	0.00018	0.00065	0.00023	0.00014	0.00048	0.00028	-	-	-	-	-	
	主灰ダイオキシン類 濃度 ( $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$ )	-	-	-	-	0.0033	-	-	-	-	-	-	-	
	採取場所：主灰搬送装置													
飛灰ダイオキシン類 濃度 ( $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$ )	-	-	-	-	0.47	-	-	-	-	-	-	-	-	
採取場所：飛灰搬送装置														

排ガスに関する規制値

	大気汚染防止法	埼玉県基準値	協定基準値
硫黄酸化物排出量/濃度		60.92 $\text{m}^3/\text{h}^{\text{※}}$	25ppm
ばいじん濃度	0.15 $\text{g}/\text{m}^3$ N	0.15 $\text{g}/\text{m}^3$ N	0.01 $\text{g}/\text{m}^3$ N
塩化水素濃度	700 $\text{mg}/\text{m}^3$ N	200 $\text{mg}/\text{m}^3$ N	30ppm (= 48.9 $\text{mg}/\text{m}^3$ N)
窒素酸化物濃度	250ppm	180ppm	50ppm
水銀濃度		0.03 $\text{mg}/\text{m}^3$ N	0.03 $\text{mg}/\text{m}^3$ N
ダイオキシン類濃度		1 $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$ N	0.01 $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$ N

※法で定められた計算式 (17.5×補正された排出口の高さ(m)の二乗×10<sup>-3</sup>) に埼玉西部クリーンセンターの煙突の高さ(59m)を当てはめて算出